

特別講演会



日本から見た中米 中米から見た日本

ホンジュラスの事例



本年は、日本と中米 5ヶ国（ホンジュラス、グアテマラ、エル・サルバドル、ニカラグア、コスタリカ）の間に外交関係が樹立されてから 80 周年の記念すべき年にあたります。さらに日本政府はこの 5ヶ国にパナマ、ドミニカ共和国、ベリーズが加わる中米統合機構（SICA）との間で本 2015 年を「日・中米交流年」と位置付け、活発な文化交流活動を展開しています。国際文化資源学研究中心は、本学が 2013 年にホンジュラス国立人類学歴史学研究所と締結した交流協定に基づき、世界文化遺産「コパンのマヤ遺跡」において一連の研究・教育・国際貢献活動を展開していますが、この機会にホンジュラス、日本両国の特命全権大使をお招きし、中米諸国の一つであるホンジュラスを事例にお互いの視点を語り合う講演会を開催いたします。

講演者： 駐日本 特命全権ホンジュラス大使 Marlene Villela-Talbott 氏
駐ホンジュラス 特命全権日本大使 岡田 憲治 氏
(スペイン語通訳付き)

日時： 2015 年 4 月 16 日 5 限 (16 時 30 分～ 18 時)

場所： 人間社会第一講義棟 102 講義室

問合せ先： 国際文化資源学研究中心 (電話番号 076-264-5788)

主催： 人間社会研究域附属 国際文化資源学研究中心